

第1回 国道（国管理）の維持管理等に関する検討会 議事概要

1. 日時 平成24年8月1日（水）14：00～16：00

2. 出席者委員

那須清吾座長、堤盛人委員、二村真理子委員、山口栄輝委員

3. 議事概要

事務局より資料について説明し、主な議論は以下のとおり。

(1) 維持管理基準について

- 目的とする道路の機能を整理して、それを達成するためにはどのような基準とすべきかというロジックを整理することが必要。
- 道路の目的には様々な面があり、それらに対して守るべき水準を設定するため、マトリックス的に整理することが必要。
- 統一的な基準を設定する一方で、必要などころにはコストをかける弾力的な運用が重要。
- サービスを提供することではなく、基準を守ることが目的にならないように留意が必要。
- 巡回の基準の検討にあたって、落下物の内訳や事故との関係等、構造的な分析をしてはどうか。

(2) 道路構造物の修繕及び更新について

- 「維持」「修繕」などの定義を整理すべき。
- 予防保全のために短期的に必要な費用と、ライフサイクルコストの縮減効果等について、解りやすく説明することが必要。
- 特に地方公共団体については、修繕や更新のコスト推計に加えて、体制や技術力についての議論も重要。
- 地方公共団体管理の橋梁には、老朽化が進んでいるものも多い。状況によっては「更新しない」という選択肢もあるのではないか。

(3) 入札契約における取り組みについて

- 競争参加資格要件の緩和の検討にあたっては、業務が適切に履行できるかの視点も重要。
- 潜在的な競争が働いていれば、企業は応札に最大限の努力をするので、1者入札であっても複数者入札と同様の効果が享受できている可能性はある。